

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究プロジェクト番号	S-18-1
研究プロジェクト名	総合的な気候変動影響予測・適応評価フレームワークの開発
研究実施期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
テーマ代表機関名	茨城大学
テーマリーダー名	三村 信男

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

研究全体を俯瞰したフレームワークで基盤情報を整備するために、気候変動シナリオに加えて、社会経済シナリオを利用可能化し体系的なプラットフォームが構築され、プロジェクト全体に関わる評価・解析につなげている。社会・経済影響モデルを使い、因果関係が追跡可能な適応策として示した点は大きな科学的成果である。適応オプションに関するカテゴリー分析や変革性の観点から評価した結果は環境政策への貢献も期待できる。農業影響分野等において統計的手法を提案できたことは、他の分野における先導役として高く評価する。パンデミック課題として緊急課題にも対応できた。農業・水資源の適応策をシナジーやトレードオフの観点から定量的に評価する手法は、適応策決定のための科学的根拠を与えると高く評価される。多数の科学論文と国際連携による発信が認められ効率的に研究が遂行されている。ただ、農業・水資源分野との連携は見られたが、その他のテーマと連携したり、その研究活動を先導したりするという観点からは少し課題が残された。これらの成果が、気候変動影響評価と適応策策定の基礎として活用されることを期待する。